



April 25.2012

No.111

生産方式(NPW)
Production Way

日産自動車九州
Nissan Motor Kyushu

議会だより

3月
定例会

平成24年度予算可決

総額199億7千万円

予算徹底検証…………… P4~7

特集 議会改革の
これまでの流れ…P2~3

第1回 定例会 ……………P8~11

一般質問…………… P12~24

研修報告・議会のうごき …… P25~26

追跡レポート …………… P28

Kanda

ダットサンセダン
1937年型

議会改革
特集

議会改革のこれまでの流れ

H19年10月
新メンバーによる
議会がスタート

H20年2月
議会懇談会開催
(あざみ政治学級)

H20年8月
●北海道栗山町研修視察
●第3回委員会開催

H20年7月
第2回委員会開催

H20年9月
夜間議会実施

H20年10月
京丹後市研修視察

H20年6月
●6月定例会 議員発議により
議会改革特別委員会を設置
●第1回委員会開催

H21年1月
第5回委員会開催

H20年11月
●議会懇談会開催
(商工会議所青年部)
●第4回委員会開催

H21年2月
●議会懇談会開催
(区長連合会)
●第6回委員会開催

H21年3月
第7回委員会開催

H21年5月
第8回委員会開催

H21年10月
議会懇談会開催
(区長連合会)

H22年7月
議会懇談会開催
(区長連合会)

H21年8月
議会懇談会開催
(老人クラブ連合会)

H21年9月
夜間議会実施

H21年12月
議会懇談会開催
(身体障害者福祉会)

H22年2月
●議会懇談会開催
(環境会議)
●第9回委員会開催

H22年9月
夜間議会実施

H23年2月
●議会懇談会開催(環境会議)
●第12回委員会開催
●第13回委員会開催

H22年11月
第10回委員会開催

H23年3月
議会懇談会開催
(環境会議)

H23年6月
議会懇談会開催
(区長連合会)

H23年9月
9月定例会
議会基本条例上程(議員発議)
全会一致可決

H23年5月
●議会懇談会開催(保育連盟)
●全員協議会で協議
●第14回委員会開催

H23年8月
第15回委員会開催

議会報告会

24年度予算委員会の主な質疑

24年度予算委員会の主な質疑



子ども広場

放課後子ども広場拡充
……………3391万円

Q 各学校に子ども広場は設置されているのか。雇用総数と賃金体系は。

A 各小学校に設置されている。新規採用者は26人。前任者38人とあわせて64人体制で運営している。賃金は主任が時給1000円、それ以外は850円。



電子黒板

デジタル教科書(小学国語、中学英語)・電子黒板
……………667万円

Q 1台の価格、購入台数、配置先は。

A 1台23万円、15台購入予定、南原小・馬場小以外の小学校に1台ずつ。残り11台は、各小学校の学級数に案分して配置する。



消防指令室

デジタル無線整備に伴う施設設備基本設計
……………1166万円

Q 内容は。

A 従来、緊急消防用無線として本部司令室と消防車両に設置してきた。阪神・淡路大震災時に問題が生じ、デジタル化への移行が義務付けられた。台数については基本整備計画を策定中。



釜山市

少年のつばさ
……………150万円

Q 詳しい事業内容の説明を。

A 夏休み期間中に町内の小学5・6年生を対象に20名募集。7月から就航の北九州空港釜山便を利用して韓国に派遣。事前研修3日、派遣は2泊3日もしくは3泊4日を予定。韓国の歴史と文化、自動車産業や空港・港湾等を見学。個人負担は1割と想定している。

エアポートバス運行補助金
……………800万円

Q 利用実態は、今後の見通しは。

A 朝夕は比較的多いが、平均すると1便一人の利用状況。5年契約であり、残りが3年ある。ダイヤ改正やコミュニティバス再検討委員会で協議し、赤字の圧縮を図りたい。



エアポートバス

海拔表示板取付
……………150万円

Q 設置時期と設置場所は。

A なるべく早い時期に日豊本線より東側の電柱100ヶ所に設置を予定している。



〇〇県 〇〇市



苅田臨空産業団地

開発事業特別会計

Q 当初の計画とは異なる形で活用されている区画がある。対応はどつするの。

A 当初はビジネスホテルを建設し、1階部分にレストラン等をつくるようになっていた。経済状況の変化で計画を変更した。コンビニと外食産業を運営している。今後はできる限り、町の希望にかなうように運営していきたいとの説明を受けている。



臨空産業団地

イルミネーション事業
助成金(苅田工業高校とタイアップ)
……………100万円

Q 事業概要は。

A 苅田工業高校50周年事業とタイアップして、実行委員会を設置して取り組む。設置場所は商店街もしくは苅田駅に予定している。



3月定例会の主な議案質疑

3月定例会の主な委員会質疑

総務常任委員会

Q 議案第36号専決処分…自主防災の補助金は今後増やしていくのか。

A 検討する。



A 文久水路改良工事は24年4月27日、上道池改修工事は5月10日、松山土捨場電機工事は5月末、道整備交付金事業は24年度末、道路改良事業は24年度末、与本地区街路整備事業は10月末、苅田駅東口公園整備事業は4月末である。



松山土捨場

産業建設常任委員会

Q 議案第28号平成23年度苅田町一般会計補正予算…線越明許費について。

A 線越明許費とされている公共工事費の竣工時期はいつか。



苅田駅東口公園整備事業

議案質疑

議案第15号苅田町税条例の一部を改正する条例

Q 税条例の改正について、東日本大震災に関わる町民税500円加算の詳しい説明を。

A 東日本大震災復興財源として、平成26年度から35年までの個人の町民税に限り、均等割の標準税率に500円を加算する。本町での23年度での試算は約800万円となる。



厚生文教常任委員会



多目的室

Q 議案第19号苅田町介護保険条例の一部を改正する条例について。

A 現在の基準額3900円を4150円に改定することだが、保険料を払うと利用料が負担できない低所得者への更なる配慮が必要では。

A 今回の改定では、通常の計算では保険料が670円引き上げになる。基金の一部切り崩しなどで低所得者に配慮して250円の上昇に押さえた。

Q 議案第21号苅田町体育施設の設置、管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について。
トレーニング室を多目的室に変更するのなら、料金設定も他の施設のように配慮をすべきである。

A トレーニング室の床を板張りに改修し、多目的室とした。料金は、三原文化会館などを参考にし、1時間700円冷暖房使用料を1時間1000円にした。
個人での使用は想定しておらず、団体を対象とした占用貸しにした。

Q 議案第27号工事請負契約の締結について一部変更について(苅田中学校グラウンド法面補強工事)
教育委員会所管の建物が多い。管理する面に於いて技官がいらない。適時対応のため、技官を設置するべきでは。

A 教育委員会単独では判断できない。

平成24年度 苅田町一般会計予算 商工費中小企業 振興資金預託金

Q 中小企業振興資金預託金の23年度実績状況は。

A 利用実績はない。

Q 緊急経済対策で行ってきた利子補填事業も終わった。町独自で貸出利率の引き下げは出来ないのか。

A 利率は県と金融機関と協議の上決定している。利子補填を含め今後、検討していきたい。



消防費

Q 今年、尾倉区ではすでに3件の火災が発生した。苅田地区、小波瀬地区の既存の消防団は、すべて旧市街地に設置されており、日豊線より以西には設置されていない。
時代の経過により人口分布が変わってきている。見直す時期では。



A 現在は検討していない。しかし、見直すべき時期であると考えている。

平成24年 第1回 刈田町議会定例会議決結果一覧表

議案番号	議案名	結果	議案番号	議案名	結果
議案第1号	平成24年度刈田町一般会計予算	賛成多数	議案第24号	刈田町営住宅管理条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第2号	平成24年度刈田町国民健康保険特別会計予算	賛成多数	議案第25号	町道路線の廃止について	全会一致
議案第3号	平成24年度刈田町後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数	議案第26号	町道路線の認定について	全会一致
議案第4号	平成24年度刈田町介護保険特別会計予算	賛成多数	議案第27号	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について (刈田中学校グラウンド法面補強工事)	全会一致
議案第5号	平成24年度刈田町土地画整理事業特別会計予算	全会一致	議案第28号	平成23年度刈田町一般会計補正予算(第7号)	全会一致
議案第6号	平成24年度刈田町住宅新築資金等特別会計予算	賛成多数	議案第29号	平成23年度刈田町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	全会一致
議案第7号	平成24年度刈田町刈田町臨空産業団地開発事業特別会計予算	全会一致	議案第30号	平成23年度刈田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	賛成多数
議案第8号	平成24年度京都府公平委員会特別会計予算	全会一致	議案第31号	平成23年度刈田町介護保険特別会計補正予算(第4号)	全会一致
議案第9号	平成24年度刈田町下水道事業会計予算	全会一致	議案第32号	平成23年度刈田町土地画整理事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致
議案第10号	平成24年度刈田町水道事業会計予算	賛成多数	議案第33号	平成23年度刈田町住宅新築資金等特別会計補正予算(第2号)	賛成多数
議案第11号	刈田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全会一致	議案第34号	平成23年度刈田町下水道事業会計補正予算(第3号)	全会一致
議案第12号	刈田町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	全会一致	議案第35号	平成23年度刈田町水道事業会計補正予算(第3号)	全会一致
議案第13号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致	議案第36号	専決処分について(平成23年度刈田町一般会計補正予算(第6号))	全会一致
議案第14号	刈田町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致	議案第37号	専決処分について(和解及び損害賠償額の決定について)	全会一致
議案第15号	刈田町税条例の一部を改正する条例	賛成多数	議案第1号	このころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書(案)	賛成多数
議案第16号	刈田町手数料条例の一部を改正する条例	全会一致	意見書案第2号	父子家庭支援策の拡充を求める意見書(案)	賛成多数
議案第17号	刈田町水防に関する条例の一部を改正する条例	全会一致	意見書案第3号	「治安維持法犠牲者国家賠償法」の制定を求める意見書(案)	否決
議案第18号	刈田町放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例	全会一致	意見書案第4号	障害者総合福祉法(仮称)の早期制定を求める意見書(案)	賛成多数
議案第19号	刈田町介護保険条例の一部を改正する条例	賛成多数	意見書案第5号	「社会保障と税の一体改革」の中止を求める意見書(案)	否決
議案第20号	刈田町障害者施策推進協議会設置条例の一部を改正する条例	全会一致	選挙第1号	刈田町選挙管理委員の選挙について	当選
議案第21号	刈田町体育施設の設置、管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数	選挙第2号	刈田町選挙管理委員補充員の選挙について	当選
議案第22号	刈田町立公民館の設置、管理等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致	議案第38号	教育委員会委員の任命について	全会一致

第一回定例会

意見書

意見書案第1号

このころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書(案)
賛成多数

意見書案第2号

父子家庭支援策の拡充を求める意見書(案)
賛成多数

意見書案第3号

「治安維持法犠牲者国家賠償法」の制定を求める意見書(案)
否決

意見書案第4号

障害者総合福祉法(仮称)の早期制定を求める意見書(案)
賛成多数

意見書案第5号

「社会保障と税の一体改革」の中止を求める意見書(案)
否決

選挙

選挙第1号

選挙管理委員選挙の結果
岸上 榮志氏
魚住 聖氏
古住 功氏
坂本 絹代氏
が当選されました

選挙第2号

選挙管理委員補充員選挙の結果
山下 日出人氏
坂本 佐江子氏
西村 清文氏
朝重 勝之氏
が当選されました

人事案件

教育委員会委員に野辺寿一氏を任命することに同意

議会事務局長に井本博樹氏が就任

4月1日付けの人事異動により、平成20年4月1日から4年間、議会事務局長として勤務された星野峰敏氏が定年退職され、後任として、前職務課長の井本博樹氏が議会事務局長に就任しました。今後ともよろしくお願ひします。

みなさん議会傍聴に来てください

6月定例会の予定

6月5日(火)から
一般質問は6月12日(火)・13日(水)・14日(木)

《開催時間》 10時から17時 受付は庁舎6階

問い合わせは議会事務局 ☎093-434-1981

3月議会は
87人の
傍聴者が
ありました

Q 保育新制度 町はどのように変えるのか



日本共産党 梶原 弘子 議員

- Q** 町内7園の関係者と話しあったのか。
- A** 各園から厳しい意見が出た。
- Q** 制度改悪の中、町の役割を果たすことはできるか。
- A** 適正な契約が行われるよう指導する。
- Q** 企業参入もある。質の低下につながるのか。
- A** 質が低下するとは思っていない。
- Q** 中学校の武道必須化について
- A** なぜ中学校で武道必須化なのか。
- Q** 24年度教育予算に280万円計上されている。その内容は。
- A** 荻田中は相撲、新津中は柔道を選択し、相撲のマットと柔道の畳を準備し又柔道着60着分も予算化した。
- Q** 柔道事故多発化がマスクミでも大きく取り上げられている。大丈夫か。
- A** 年間14時間程度の授業計画、安全配慮を繰り返し指導する。

A 2015年から「子ども園」へ移行する

- Q** 携帯電話の中継基地について
- A** 電磁波の影響が問題視されている。町の対応は。
- A** 町内には61中継局があるが町民からの苦情はない。
- Q** 高圧変電所は教育施設や公民館、病院等の近くには建設できない。これに準ずる条例はできないのか。
- A** 業者は国指針に基づいている。町独自は難しい。
- Q** 町民を守る立場に立つべきだ。これ以上建てない等の条例づくりを願う。
- A** 他自治体等調査する。
- Q** 役場職員体制について
- A** 町民を守る体制となっているのか。
- A** 現在の人員で適切に配置業務している。
- Q** 町営住宅の担当は2名、空室の改修調査等に手がまわらず、入居したい住民は困るとよく聞く。
- Q** 町民を守る立場に立つべきだ。これ以上建てない等の条例づくりを願う。
- A** 他自治体等調査する。
- Q** 住宅リフォーム助成制度について
- A** 24年度予算には昨年に続き500万円計上されている。町民や町内業者への周知徹底を。
- A** 5600万円の経済効果を生み出している。町内業者への案内と手続の説明などをしていきたい。
- Q** 現在の人員の中で適切に効率的に配置している。
- A** 働きやすい条件で働いていけば、町民に対しても適切な対応ができるのではないかと。
- A** 少しでも人件費を抑え、うまく機能するように調整し配置している。



携帯電話の中継基地局

Q がん検診率の向上を

A 受診しやすい検診体制を整える

- Q** 取り組みの現状と課題は。
- A** 年間15日のうち土、日曜日に実施。また女性のがん検診は3回追加。平成24年度から「待ち時間を短縮できる」予約制を取り入れる。
- Q** 検診率が上がらない要因は。
- A** 健康に関する意識が高まっていないと思われる。
- Q** 来年度、取り組む予約制について。
- A** 行橋市では予約日とフリーの日を設ける事で待ち時間の短縮に効果があった。その事例を調査研究し、効率的な受診環境をつくる。
- Q** 医療費の推移と今後の予測は。
- A** 21年度の医療費は若干下がったが、22年、23年度は上がっている。診療報酬の改定により影響を受けるので先は見えにくい。
- Q** 荻田町国民健康保険一人当たりの医療費は。
- A** 28万7千597円。

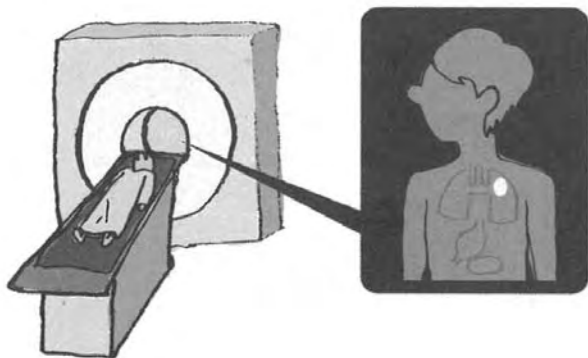
- Q** 胃がんを撲滅できるピロリ菌除菌についての認識は。
- A** ピロリ菌の検査方法は、①胃カメラによる細胞診、②血液、尿中の、抗体検査、③尿素呼吸試験、④便中ピロリ抗原測定である。
- Q** 胃がんの検診にピロリ菌の検診と除菌を導入できないか。
- A** 他の自治体の取り組み等を調査し検討する。



公明党 小山 信美 議員



マンモグラフィー [エックス線検査]



- Q** 耐震を優先し、その後調査とあわせて考えていく。
- A** 耐震を優先し、その後調査とあわせて考えていく。
- Q** 町長の考えは。
- A** 予定はない。
- Q** 庁舎内にキッズコーナー等を設置する考えは。
- A** 調査中である。
- Q** 庁舎の耐震調査について。
- A** 3、4月に研修し、なるべく早い時期にする。
- Q** 庁舎の耐震調査について。
- A** 調査中である。
- Q** 庁舎内にキッズコーナー等を設置する考えは。
- A** 予定はない。
- Q** 町長の考えは。
- A** 耐震を優先し、その後調査とあわせて考えていく。
- Q** フロアマネージャーの取り組みは。
- A** 経験ある再任用職員を考えている。
- Q** 内容については。
- A** 午前と午後2時間ずつ来庁者の接客と業務日誌等をつける。
- Q** フロアマネージャー以外の業務は。
- A** 公用車の集中管理、白川出張所の3カ所を4人で交替で担当する。
- Q** フロアマネージャーの設置時期は。
- A** 3、4月に研修し、なるべく早い時期にする。
- Q** 庁舎の耐震調査について。
- A** 調査中である。
- Q** 庁舎内にキッズコーナー等を設置する考えは。
- A** 予定はない。
- Q** 町長の考えは。
- A** 耐震を優先し、その後調査とあわせて考えていく。

私の描く町づくり 構想と教育の振興



無党派 林 繁実 議員

マグネットタウン 構想について

Q マグネットタウン構想とは人や産業、人心を磁石のようにひきつける魅力溢れる町。町長の所見は。

A 精神力、高い道徳心、郷土愛を育む教育では。本町では優良PTAや優秀教員が文部科学大臣表彰を受けた。環境が整えば学力向上につながる。

Q 魅力ある質の高い教育の町を建設し、多くの子育て世代を惹き付けることが大切。質の高い教育とは、優れた学力と強靱な

A 第四次総合計画では、マグネットタウンという言葉は使っていないが、同じコンセプトだ。

A 第四次総合計画と 同じコンセプトだ

教育基本法の改定と 荻田町の教育

Q 教育基本法が六十年ぶりに改定された。町の教育で特に力を注いできた内容とは。

A 子どもの持つ特性等、個性重視を基本に指導した。

Q 印象に残ったものは、①豊かな情操と道徳心②公共の精神③伝統文化を尊び、国と郷土を愛する態度である。

A 家族愛、仲間を愛することが郷土愛に繋がる。

国際時代と国歌、君が代 の指導について

Q 国歌斉唱の子どもたちの声が頼りない。各学校で胸を張って斉唱する指導がなされているのか。

A 国歌には様々な論議が続いている。その原因は、日本は、戦争体験がある。国歌の歌詞が如何なものかという話もある。

かという話もある。教育基本法の改定で、学習指導要領「音楽科」の記述がどう改定されたか。A 現具体的表現は覚えていないが学校には指導した。

【提言】

以前は君が代は「指導する」となっていたが、今回「歌えるように指導する」となった。先生が立派な見本を示すことだ。指導成果に注目したい。



Q 県道京都峠線の 完成時期は？

A 平成25年度 完成は困難

Q 京都峠の白川側は、田園風景が広がる。荻田側は、殿川ダム、工業地帯、周防灘へと続く。この観光資源を生かすべきだ。

A 京都峠の両サイドは大変貴重な地域。殿川ダム周辺はボランティアが景観整備を行っている。山口ダムについては周辺整備も検討中。

【提言】

京都峠トンネル道路整備は、昭和の合併時の条件となっていた。当路線の完成により人的・経済的交流が促進される。一日でも早い完成を望む。

Q 白川八田山地区にある町有地、野外学習センター用地の現状と今後の利活用策は。

A 昭和49年7月農林省より荻田町に譲与された。広さは13341㎡である。現在は建設土砂仮置き場として利用。今後については未定。



21世紀クラブ 坂本 東二郎 議員



京都峠から望む市街地

【提言】

白紙の状態から検討すべきだ。自然エネルギーの太陽光、風力発電や緑陰の中の住宅団地林間住宅など利用策を考えるべきだ。

Q 社会人・大学野球の盛んな町である。まちづくりの観点からも野球場が必要。

A 子供達に公式の試合を身近に体験させたい。社会人野球予選や高校野球予選等行われる場所があれば理想である。

Q 京築2市2郡に高校野球の予選を行う公認の硬式野球場の建設を。

A 県などを含め今後の検討課題としたい。

Q 公金17億円、運用の失敗では



無党派 尾形 均 議員

- Q** 町民の税金17億円を投機、約7億円が含み損になっているが。
- A** 事務処理は不適切。係争中なので答弁は控えたい。
- Q** 国債、地方債、5年以内の債券しか買えない筈だ。
- A** 不適切であった。
- Q** 不適切だということは購入できない筈だが。
- A** 弁護士との指導で、答弁は控えない。
- Q** リスク確認書、投資確認書によると安全性、流動性が全くないと思われるが。
- A** 外国債は指針に適合しないが、町長の決裁で可能。
- Q** 内規違反の起案書に決裁してある。職員は明らか
- Q** 町民の税金17億円を投機、約7億円が含み損になっているが。
- A** 司法の場で主張している。
- Q** 購入時の起案書は。
- A** 通常の起案書であった。
- Q** 当時の経緯は重要だ。現在の担当ではわからない。当時の担当課長に答弁を。
- A** 現担当者が答弁する。
- Q** 買えない時に買えない物を買う、後日規則改正を行う。これでいいのか。
- A** 外国債は指針に適合しないが、町長の決裁で可能。
- Q** 内規違反の起案書に決裁してある。職員は明らか

A 不適切、答弁は控える

- Q** 地方公務員法違反である。
- A** 内容を分析して買うべきだった。不適切であった。
- Q** 規則を自ら破るなら、必要がない。違法だ。
- A** 裁判中である。今後適切な処置を行う。
- Q** 指針違反と解っていないが起案する。悪質だ。
- A** 指針（内規）に適合しない。
- Q** 清掃基金2億円。会計管理者との合議は。
- A** 合議は行っていない。
- Q** 財務規則に違反して決裁している。独裁か。
- A** 町長が決裁すれば違反ではない。

Q 前議会の決議書に対し未だ回答がない。議会軽視も甚だしい。

A 係争中であり、今後回答したい。

【提言】
町民一人当たり2万円の損失。同じ債券を購入した朝来市の専門委員会では速やかに解約、売却すべき、と答申している。将来の子や孫のため、町長は逃げないで真剣に取り組んでもらいたい。

荊田町債券運用指針	
債券運用を行う場合の指針を、次のとおり定める。	
1 優先順位	債券の選択にかかる判断の優先順位は、以下のとおりとする。 ① 安全性 ② 流動性 ③ 収益性
2 リスクへの対応	リスクを最小限に抑えるため、次の方法をとる。 (1) 信用リスクへの対応 ① 購入する債券は、国債、地方債の元本償還の確実性の高い債券とする。 ② 金融機関の選定については、「荊田町資金管理並びに運用基準」4の(5)の内、③、④に抵触しない銀行及び証券会社の中から選定する。 ③ 保管・運用及び調達にあたっては競争性に優れた引合方式及び流動性に優れた相対方式もしくは指名競争入札方式のうち、資金状況や金利動向等に留意し安全性の高い手法を用いることとする。 (2) 債券価格変動リスクへの対応 当該債券の償還期限まで保有することを前提にした債券の購入を原則とする。 (3) その他のリスクへの対応 購入する債券は、新発債、既発債を問わず、残存期間が5年を越えない債券とする。
3 台帳の整備	債券の購入時及び満期若しくは期中売却時は、債券ごとに下記の事項のうち、確定した事項を遅滞なく記録し保管する。 ① 購入債券の名称 ② 購入日、並びに購入価格 ③ 購入理由 ④ 運用期間 ⑤ 満期又は売却日 ⑥ 償還価格又は売却価格 ⑦ 受取利息の額 ⑧ 債券売却益

Q 与原地地区画整理事業の進捗状況は

- Q** 調整池建設の取付け道路の整備はいつ完成か。
- A** 5月まで仮設道路築造完了、平成24年度に調整池の一部を築造し、26年度まで完了予定。
- Q** 区画整理地内の農地は耕作できないと聞いたが。
- A** 尾倉と原線から北側の調整池までの農地を耕作している地権者に、耕作停止の文書を平成23年8月に発送している。
- Q** 区画整理地と工業専用地域の間のグリーンベルトの
- Q** 有効利用方法はないのか。
- A** テニスコートや遊歩道を作る事が考えられる。具体的には決まっていないうが良好な住宅環境には必要。
- Q** 区画整理地区内の公園計画の内容は。
- A** 区画整理の進捗状況を見ながら、地元と協議し計画を立てる予定。
- Q** 空地は現状のままにしておくのか。

A 平成27年度完了予定

- Q** 今後の予定はないが、将来は建替用地にしたい。
- A** 町で分譲販売してはと提案した。検討したのか。
- A** 民間売却、民活、半民半公のような住宅を建設し定住化対策には寄与できると思うが具体化してない。
- Q** 団地内に駐車場スペースが少ない。空地进行を駐車場として貸し出せないのか。
- A** 貸すことはよいが、住居の近くに駐車場を整備するのがよい。今後その方向で検討する。
- Q** 自主防災組織とは。
- A** 地域、区住民が一体と

エコデンレースについて

- Q** 24年度予算にエコデンレース補助事業に50万円とあるが内容説明を。
- A** 要綱に基づき、事業実施や運営報償費、旅費等が対象となっている。
- Q** レース実行委員会に、町の意見を反映とある。その内容は。
- A** 開催場所や広報の仕方など発言している。
- Q** 自動車産業の町、もう少し盛り上げる施策を。
- A** 行政も協力をする。



事業が着々と進む与原地区画整理予定地



革進クラブ 沖永 義樹 議員

小波瀬駅

具体案作成の提言



無党派 遠田 孝一 議員

Q 小波瀬駅と周辺の整備は住民の強い要望に行政が応えていない現状。

A 庁内に検討委員会を設け検討してきた。今後、住民の意見を聞き、JR九州、西工大、病院と協議したい。

Q 現状の問題点は2点。現在の駅は構造に無理があり、利便性が悪い。駅へのアクセス道路が狭く利用者から危険と指摘あり。その他に問題点があるか。



小波瀬九耀橋

Q 検討すべき事項は4点。①駅の利便性向上。②周辺の交通危険性を除去。③事業のコスト削減を考慮。④駅周辺が発展する起爆剤。

A 安全性の確保、駅のバリ

アフリー化と利便性の向上、周辺の町づくりに加え、安いコストで便利な駅にすることが重要。

A 話を進めてまいりたい

ならない。地域と一緒に話を進めたい。

荻田町のマナーアップ

Q 荻田駅設備の汚損や破損期限切れ掲示物等、荻田町管理箇所の管理強化と駅の利便性向上の要望がある。

A マナーが悪く、駅設備の破損等は承知。駐輪場を安全に使用してもらおう意味からも新たな形の管理をしたい。



JR小波瀬西工大前駅ホーム

自主防災組織について
Q 自主防災組織の設立状況と助成内容について
A 従来の2区に加え、12区が設立見込み。資機材整備準備金が1区30万円。必要な訓練に1区1回3万円。

百合ヶ丘地区 防災用迂回路

Q 百合ヶ丘地区は自動車道路が1本、迂回路がない。過去の「地権者協力」答弁の意味と技術的な基準は。

A 地権者の土地無償提供がありがたい。最低でも用地買収に依るの意。道路勾配基準は9%、特例12%。

道路必要性の考えは。
Q 防災の観点から、地域防災計画見直しの中で道路の必要性も生じてくる。いづれ住民と話し合いたい。

将来の財源確保に向けた施策は

平成二十四年度予算編成

Q 財源確保の施策は十分。ほかどのような戦略・政策があるのか。

A 周防灘沿岸道路建設は企業誘致にもつながる。周辺自治体と県に働きかけを再開した。また町債発行を抑制し財政規律を保つ。

財源確保のための補助金
Q 財源確保のための補助金見直しの目標額は。

A 数値目標を定める予定だが、今はまだ決めていない。

数値目標がないと施策も

効果もチェックできない

Q 削減目標、人員の適正化計画など目標数値を決める。

A 達成に向けた具体的策は。①区長連合会と定期的な勉強会で補助金削減を考える。効率的な補助制度を考える。

農業公社や観光交流施設
Q 農業公社や観光交流施設はお金を出すだけの補助金行政になりがちだが。

A 農協と協力し、最終的には独立する。観光交流施設は観光協会的な組織と

する。

Q 防災に大きな財源と権限が必要だ。機構改革でくらし安全課を強化する考えは。

A 県・くらし安全防災課に職員を派遣している。今後、人材育成や財源を考える。

町長公約の達成・進捗は。

A 教育や子育てなどに力を入れた。企業誘致やインフラ整備にも力を入れた。マニユフェスト評価を行う。

第4次総合計画を踏まえて

Q 理想の基礎自治の規模・形などの論議が必要では。

A 広域的な事務処理が出来る法制度改正が行なわれる予定。今後検討する。

Q 広域で捉えると二重行政という無駄も多いが。

A 近隣市町村との広域行

A 財政規律を

堅持していく

政・連携は重要であり、真剣に取り組まなくてはならない。

公共インフラ整備戦略

Q 港湾整備事業負担金7300万円は総工事費の何%か。

A 港湾局部改良工事20% 港湾既存施設有効施設促進事業8% 景観整備事業25%

Q 負担率が適正であるか。調査が必要では。

A かなり難しい。調査する。

小波瀬西工大前駅改良

Q 7年以上も取り上げてきたが進まない。本町だけの力では無理なのは。

A どの程度の整備をするのかにもよる。基本的には駅舎はJRが負担し、公共性を鑑みて、町としても考える。

Q 交渉の進展はない。県レ

ベル・JR全体での取組が必要、活発な外交が不可欠。
A 予算的には、限界まで話を詰める。思いを全部叶えることは出来ない。
Q 荻田駅と同様、県レベルでなければ出来ないのでは。
A 駅と周辺整備事業は、多くの市町村もやっている。ので不可能ではない。

緑ヶ丘トンネル工事

Q 住民不安は解消出来ないか。

A 県事業であり、要望の取次程度しか出来ない。

Q 負担金を出しているなら口も出せるはず。負担金は。

A 県の補助事業は6分の1、県単独は4分の1。



無党派 常廣 直行 議員

Q 上水の安全安心への対応は



革進クラブ 井上 修 議員

A 浄水場の改良工事で安全性は確保できている

Q 病原性原虫クリプトスポリジウムが集団感染した事例がある。本町は大丈夫か。

A 今川の原水からクリプトスポリジウムが検出されたことがある。今は常に最高のレベル4で対応している。

Q クリプトスポリジウムは塩素系薬剤では殺菌効果が無い。膜ろ過方式でなく急速ろ過方式を採用した理由は。

A 今川からの原水はマンガン物質等が多くランニングコストを考慮し採用。

Q 厚生労働省省令を十分踏まえて決定したのか。

A 平成19年に基本設計を出した。検討はしていない。

Q 浄水場改修事業費は27億2千万円。20億6千3百万円が企業債として発行。今後の財政見込みは。

A 企業債の返還が5年後に始まる。水道課と下水道課の一元化、経費削減及び健全経営に努める。

Q 高齢者や障がい者の孤立死等が社会問題になっている。本町の取り組みは。

A 町政の重要な課題である。駅を中心とした周辺地域の13人の区長を通じて意見の集約を開始している。

Q JR小波瀬西工大前駅周辺整備されたのか。

A 地域住民との協議はなされたのか。

Q 高齢者・障がい者の支援策はあるのか。

A 医療機関等に委託して

る、在宅介護支援センター電話・来所等含め約3千件である。
Q 動けない方の安否確認方法の検討は。
A 緊急通報装置を付けている世帯が300世帯。社会福祉協議会と連携して定期的な確認を行っている。



二崎浄水場 制御室

Q 都市計画推進と見直し、行財政改革を急ぐ時期

A その時期と考えている

都市計画の推進と見直し

Q 50年後の人口は、1/3に減少するとの予測がある。人口増対策を急ぐべき。JR日豊線以西の市街化促進が緊急の課題。

A 定住化促進の観点から、JR日豊線以西の宅地化が必要。
Q 集区付近の都市計画道路の整備を早急に。
A 検討する。さらに線路に添った道路も考える。
Q 都市計画道路の未着工件数は。

A 10数ヶ所ある。

Q 日産自動車前の道路を直進化し、行橋市と結ぶべき。

A 周防灘湾岸道路計画を改めて広域で推進したい。

Q 都市計画の見直し時期と方法は。
A 平成24年度、基礎調査のための予算化をした。

Q グリーンベルト計画は見直すべき。
A 第4次総合計画に見直すべき指摘もあり、時代に合った計画に向け工夫を検討する。

Q JR日豊線以西に、消防、救急、防災施設が無い。安心安全対策の充実が必要。

A 地域防災計画を見直し中。地区別カルテを作成し、地域の方々の意見を

聞き、実用化したい。
Q 人が集る公共施設では、行政主体による避難訓練を実施すべき。

A 避難ビル協定の第一号を佐川急便と結んだ。今後計画的に避難訓練する。

行財政改革の推進

Q 新年度予算に、行財政改革の視点は取り入れているのか。

A 職員数を4名減、臨時非常勤等の職員は、真に必要か査定し、人件費の削減に努めた。

Q 2年前に行革プランの作成を求めた。遅れている。早急に取り組むべき。

A 新年度に行政改革推進本部を設置し、総合的に取り組む。

Q 人件費抑制の為に、各課の事務量調査を。
A 必要だと考える。

Q 町の収入増、まちづくり
A 未利用地が有る。今後の利用計画等を十分検討し、売却等も含め有効活用に取り組む。

Q 県下でも高い医療費を、どう抑制するのか。
A 困難な問題。早期治療や予防対策に努めたい。



21世紀クラブ 伊塚 弘 議員



集区都市計画道路

Q 保険料引き上げて払えるのか



日本共産党 木原 洋征 議員

第5期介護保険で誰もが介護を受けられるのか

- Q 低所得者の生活実態を調べたことがあるのか。
- A 直接的に実態調査はしていない。家に出向き、生活実態を把握している。
- Q 負担軽減率は、後期高齢者9割、国保7割、介護保険は最大で5割で、最低でも年間24900円となり、多くの高齢者が払えないのでは。
- A 一定の負担金、利用料を払うのがこの制度の根幹。
- Q 月4、5万円の国民年金

だけの人は、保険料を払った上に、利用料が払えるのか。

- A 公的扶助という制度で、その生活の質を担保するのが、社会保障制度の考え方。
- Q 介護保険料の滞納者が、現年度分で204件ある、支払えないのではないか。
- A 一概に普通徴収の人全てが払う能力がないとは考えていない。
- Q 保険料を滞納しても、介護認定やサービスは受けられるのか。

A 第1、第2段階の引き上げ額は1000円

- A 現状は受けられない。
- Q 低所得者対策の、保険料、利用料の減免実績はあるのか。
- A 利用料の1割負担を7割軽減する制度の利用実績は、22年度で4人、23年度で1人。

健康づくりと医療費について

- Q 視察した永平寺町ではガン検診を無料にしていた。費用が200万円できるのであれば、早期発見、早期治療につなげるべきではないか。
- A 無料化が即受診率向上にはなっていない。各種方針を持ってがん検診率を上げたい。
- Q 国保税は、4軒に1軒が滞納する異常な状態が続いている。現役世代が77%と圧倒的に多い。原因と対策は。



福井県永平寺町視察中

- A 滞納者と窓口での会話から「所得がない、リストラ、派遣や就職がなく、払えない」ことが原因だ。
- Q 滞納世帯の71%が、収入がないから払えない。9割軽減制度をつくるべきでは。国保税を払えず手遅れになるようなことは絶対無くすることが自治体の責務だと思うが。
- A 相談にきめ細かく対応したい。

未来を担う子ども達のために

- Q 災害時要支援プランで障害者等の情報共有化はできるのか。
- A 自主防災組織が、要援護者の台帳をつくり始めており、町も共有化を検討している。
- Q 通学路でもあり、今古賀下の県道の改善を願う。路上にある電柱の撤去ができないか。
- A 九電等へ出向き検討したい。

Q 24年度予算、ズバリ何点

大切な税収、タバコ税

- Q 23年、24年の本町のタバコ税は。
- A 23年は2億8000万円、24年度は3億5000万円を予算している。
- Q 町税収に占める割合は。
- A 約5%である。
- Q 5%の町税を納めているタバコ税。しかし庁舎内には職員の喫煙場所があるが来庁者には喫煙場所がない。配慮ができないのか。
- A 分煙等に配慮しながら検討していく。

どうする震災がれき

- Q 震災がれき受入が社会問題となっている。本町の考え方は。
- A 本町はがれき焼却施設を持つていない。復興に関して他の分野での協力は惜しまない。
- Q 町内のセメント会社の計画には本町の工場も含まれている。震災がれきを本町の工場で処理する場合は、受入の決断を。
- A 現在はそのような報告が来ていない。来た時点で、議会と相談して決定したい。

A 70点である

24年度予算を問う

- Q 24年度予算、町長の採点は何点か。
- A 70点である。
- Q 昨年度予算は80点と答えている。10点下がった原因は。
- A 財政調整基金を取り崩して予算を計上したため。
- Q なぜ、基金を取り崩さなければいけなかったのか。
- A 歳入が減り、予定以外の事業が突発的に起きたため。
- Q 歳入が減ったといったが、町税は増えている。なぜ、減ったとの考えか。
- A 平成17年から19年にできた余剰金を使って予算を組んできた。24年度は繰越が底を突いてきたため、使用できる予算が減ったため。
- Q 昨年指摘したが、繰越金という一時的な予算で



東日本大震災によるがれきの山

- 恒常的な住民サービスを行うべきでない。単年度収支は毎年3億円の赤字で推移している。
- A 収支の改善を図りたい。
- Q 24年度予算を緊縮という

- が現状は繰越金を当てにした水ぶくれ予算を続けてきた結果、予算が不足したのが実情。
- A 住民サービスを維持することは限界である。24年度は行財政改革を行い、見直す。
- Q まちの将来への経費、投資的経費が減らされている。将来への責任はないのか。
- A もちろんある。だから、指摘の扶助費、人件費を見直したい。
- Q なぜ、メリハリのある予算を組まないのか。将来への投資、社会資本整備は起債を起こしてでも行うべきだ。
- A 今年度は収支のバランスを取るために減らした。長期的に見ると大きくは減らしていない。
- Q 事務方の代表的答弁だ。政治が表に出るべきだ。町長の決断で予算にメリハリを。
- A 予算とのバランスを持つてやっていきたい。

視察研修報告

翌日は二戸市を視察、青森県の隣り町で住民の「宝を生か



【宮城県仙台市】東日本大震災被災状況について
 【岩手県三戸市】「宝を生かしたまちづくり」について

2月6日、仙台に着き、被災地を見学した。海に面した住宅地は延々と何も無く、家の土台のみ残り、至る所に壊れた自動車やがれきの山が積み上げられていた。

広大な田園は液状化を起こし、所々陥没していた。

農家は耕作地を取り囲むように建っているがどれもブルーシートで覆われ人の気配は無かった。

テレビでもよく映し出される、「ゆりあげ漁港」にも足をのばしてみた。こじんまりしたつくりで漁船が2艘繋がれていた。説明では漁協の競り場や、魚貝類を扱う店の痕跡がたたくさんあった。現地に行き、改めて自然の力に圧倒された。

テレビでもよく映し出される、「ゆりあげ漁港」にも足をのばしてみた。こじんまりしたつくりで漁船が2艘繋がれていた。説明では漁協の競り場や、魚貝類を扱う店の痕跡がたたくさんあった。現地に行き、改めて自然の力に圧倒された。

総務常任委員会

平成24年2月
6日・7日

定員管理について問う



党公明 白石 学 議員

一般質問

A 適正化を図る

- Q 嘱託職員、一般職非常勤職員そして臨時職員の数は減っているが、人件費は増えている理由は。
- A 要因は色々あるが、精査して報告する。
- Q 職員数が荊田町は、千人当り8.64人。類似団体は、6.83人。多いのでは。
- A 行政サービスを多く提供している。
- Q 正規職員と非正規職員が大体同数いる。多いのでは。
- A 必要な人員だが、できる部分は削減する。
- Q 29年度の目標は2933人、抑制する余地はないか。
- A 計画的に削減の見直しをする。民間委託の有効活用を考える。
- Q 町長の退職金を、2期目は減額しては。
- A 決め方も含め検討する。
- Q 昨年の12月、再任用の給料3級を2級にしたとの答弁だったが、予算書は平成24年4月1日で3級だ。
- A 予算編成時は、1月1日時点で3級格付をした。実際の4月1日の格付は整理し直し執行する。
- Q 来年度からの介護保険事業計画で、混合型の有料老人ホームの50床を計画している。
- A 65歳以上に限らないが、1月現在で8030人だ。
- Q 高齢者が、国民年金で入れるケアつきの有料老人ホームを町営でできないか。
- A 来年度からの介護保険事業計画で、混合型の有料老人ホームの50床を計画している。
- Q 訂正したら。
- A 修正しておわびする。
- Q 荊田町の65歳以上の高齢者は何人か。
- A 平成23年4月1日で、7294人だ。
- Q ひとり暮らしの高齢者は何人か。
- A 65歳以上で1786人だ。
- Q 国民年金に加入している人数は。
- A 65歳以上に限らないが、1月現在で8030人だ。
- Q 高齢者が、国民年金で入れるケアつきの有料老人ホームを町営でできないか。
- A 来年度からの介護保険事業計画で、混合型の有料老人ホームの50床を計画している。

Q 特養やグループホームは、1ヶ月10万円を越える。低所得者は入れない。

A 生活保護の方は入れるが、受けていない低所得者の方は入りづらい施設だ。

Q 鹿児島の日置市に民営の吹上タウンがある。国民年金の方は家賃はゼロ円。60歳以上入れる。

A 詳細に調査する。

Q 町営でできないか。

A 高齢者の住宅施策は大事な問題だ。



※三原議員は掲載を辞退いたしました。

ページの都合で全てが掲載されておりません。(掲載は登壇順)詳しくは議会HPの議事録をご覧ください。http://www.town.kanda.jp/_1032/_1169.html

産業建設常任委員会

平成24年2月
1日・2日

【山形県酒田市】

(株)平田牧場新田会長が取組まれた地域づくり
 山形県庄内空港の利用状況と利用促進の取組み

2月1日・2日 山形県酒田 市を視察。養豚業で成功し、酒田市の名誉市民である新田嘉一氏にお会いし、ご案内いただいた。平田牧場、酒田市美術館、東北公益文科大学、登録文化財指定の相馬楼、庭園寄暢亭、庄内空港等で研修を行った。新田氏はこれら施設の会長、理事長等を務めている。「私は常々、自分が生まれた故郷(庄内地方)が生き生きすること、働きの場があり、若者が地域を良くしたいと活躍することを願ってきました。」と言われている。その思いが私財を投じた地域振興の活動になっていく。地元への熱



あなたの写真で表紙を飾ってみませんか!

「議会だより」の表紙写真募集!

皆様に親しまれる「議会だより」の取り組みとして苅田町議会だよりの表紙写真を募集します。町内を撮った写真で、季節が感じられる作品（風景や子ども達が遊ぶ姿など）を幅広く募集します。

募集要項

- 応募者本人に著作権のある未発表・未公開のオリジナル作品（他の写真展等で入選された作品は、応募できません）
- 応募者本人が撮影し、被写体となった人物、建物の管理者などに、応募することの許可を得てください。採用作品の著作権は、町議会に帰属します。
- プリントしたものの場合は、L版以上のもの
- デジタルカメラの場合は、400万画素以上のもの（データの提出をお願いします）
- 編集上トリミングを行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 紙面の都合で表紙以外に掲載する場合がありますのでご了承ください。
- 作品は採否の結果にかかわらず原則返却しません。ご了承ください。
- 使用する写真は、発行月の前月に開催される議会広報特別委員会で審査します。

応募方法

撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名（15文字以内）及びその説明を添えて、下記にご郵送ください。作品は、随時募集します。

送付先

〒800-0392
苅田町富久町1丁目19番地1
苅田町議会事務局
TEL 093-434-1981

参 考

- 「かんだ議会だより」
- 発行回数 年4回（定例会の翌月に発行）
 - 発行部数 毎回12,200部

門かせてあなたの声

議会及びこの広報に対するご意見・ご要望がありましたら、右記の方法でお寄せください。お寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の参考にさせていただきます。

郵送
〒800-0392
苅田町富久町1丁目19-1
苅田町議会事務局

ファックス
093-434-2099

メールアドレス
gikai@town.kanda.lg.jp

厚生文教常任委員会

平成24年2月9日・10日

「福井県永平寺町」健康長寿について 学力向上について

2月9、10日、厚生文教常任委員会は福井県永平寺町を視察した。「人材あるところに、発展あり。苅田町の経済・文化を活性化させるために、一番大切なことは、人材の育成であり、教育改革に取り組んでいる我が町。しかし、成果がなかなか見えてこない中、全国でも有数の学力を誇る永平寺町に学ぶべきものを見出しに視察した。

特筆すべきものは、ただ学力を追い求めるのではなく、精神の涵養に力を入れていくこと。授業前に黙想の時間を取る、校舎の出入時には、お辞儀をするなど、徳育が教育発展のカギであると指摘を受けた。



また、町民福祉の向上にも特に力を入れており、健康施策、子育て支援策にも積極的に取り組んでおり、本町が抱える課題に対して、取り組むべき施策への示唆を多く得た視察であった。

議会のうごき

2月16日	基金運用調査特別委員会
2月16日	厚生文教常任委員会
2月9・10日	厚生文教常任委員会 視察研修
2月8日	議会広報特別委員会
2月6・7日	総務常任委員会視察研修
2月1・2日	産業建設常任委員会 視察研修
1月30日	議会広報特別委員会
1月27日	西彼杵郡町議会 正副議長会より視察
1月26日	厚生文教常任委員会
1月25日	基金運用調査特別委員会
1月24日	京都郡町議会議員研修会
1月23日	産業建設常任委員会
1月20日	空港企業立地対策 特別委員会
1月19日	議会広報特別委員会
1月18日	総務常任委員会
1月13日	議会広報特別委員会
1月6日	議会広報特別委員会

3月29日	議会広報特別委員会
3月26日	議員研修
3月19日	議会閉会
3月14日	予算特別委員会
3月13日	予算特別委員会
3月12日	付託常任委員会
3月9日	一般質問
3月8日	一般質問
3月7日	一般質問
3月2日	議案質疑
3月1日	第1回定例会開会
2月27日	議会運営委員会
2月24日	総務常任委員会
2月24日	議会広報特別委員会
2月23日	産業建設常任委員会
2月22日	厚生文教常任委員会

追跡レポート

緑ヶ丘トンネル工事

この工事は、都市計画道路
曾根行橋線の道路新設工事の
内、尾倉から緑ヶ丘にかけて
のトンネル工事である。トン
ネル区間の延長は、一〇・五
メートル、道路幅員一四メー
トル。トンネル両側の擁壁区
間が五・四メートル。工法の
特徴として、一度開削した後
に、H型PC杭を打ちこみ、
新たにトンネルを造ることに
なり、特に高強度と高止水性
に優れているとのこと。当初
の工期としては、平成19年2



月より平成22年3月となつて
いたが、豪雨などの影響を受
けその対策のために約2年間
遅れることになった。福岡県
京築県土整備事務所によると、
この工事に伴う影響調査及び
その補償などを含め、今年度
中には完成すること。な
お、今古賀までのこの路線の
道路新設工事が終了する予定
は、平成30年とのこと。現在
の県道は、交通量も多く、危
険であり、一日も早い完成が
望まれる。

あとがき

今年の冬は寒い日が続
きました。「梅と桜が一緒
に咲いた」まるで北国の
ような話を聞き、地震で
被害を受けた人達に思い
を馳せました。

消費税増税法案を今国
会で成立に「政治生命を
かける」と首相は言っ
ています。空を見上げると
なにやら危険なものが飛
んでくるのに備えてパト
リオットの備え完了と新
聞の文字がおどりました。
完全失業率が、沖縄県
に続いて福岡県はワース
ト2位になりました。な
かなか庶民には桜の花は
咲きません。

梶原 弘子

議会広報特別委員会

- 委員長 常廣直行
- 副委員長 友田敬而
- 委員 梶原弘子
- 委員 榎谷忠明
- 委員 伊塚
- 委員 白石孝一
- 委員 遠田